

芦屋市条例第34号

芦屋市一般職の職員の給与に関する条例及び芦屋市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

(芦屋市一般職の職員の給与に関する条例の一部改正)

第1条 芦屋市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年芦屋市条例第11号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太枠の表示部分（以下改正前の欄にあつては「改正前部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- (1) 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- (2) 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。
- (3) 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>(教職調整額)</p> <p>第19条の2 芦屋市立学校（幼稚園を含む。）の市費支弁常時勤務の校長、園長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、養護助教諭及び講師（以下「教職員」という。）のうち、その属する職務の級が教育職給料表（一）の1級、2級若しくは3級又は教育職給料表（二）の1級若しくは2級である者<u>（指導改善研修被認定者（教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）第25条第1項の規定による認定を受けた者であつて、当該認定の日から同条第4項の認定の日までの間にあるものをいう。以下同じ。）を除く。）</u>には、その者の給料月額<u>の100分の10</u>（幼稚園の教職員にあつては、<u>100分の4</u>）に相当する額の教職調整額を支給する。</p> <p>2 （略）</p>	<p>(教職調整額)</p> <p>第19条の2 芦屋市立学校（幼稚園を含む。）の市費支弁常時勤務の校長、園長、教頭、教諭、養護教諭、助教諭、養護助教諭及び講師（以下「教職員」という。）のうち、その属する職務の級が教育職給料表（一）の1級、2級若しくは3級又は教育職給料表（二）の1級若しくは2級である者には、その者の給料月額<u>の100分の4</u>に相当する額の教職調整額を支給する。</p> <p>2 （略）</p>

改正後	改正前						
<p>(義務教育等教員特別手当)</p> <p>第 1 9 条の 3 (略)</p> <p>2 義務教育等教員特別手当の月額は、2 0 , 7 0 0 円を超えない範囲内で職務の級及び号給(定年前再任用短時間勤務職員にあつては、職務の級)の別に応じて、<u>並びに当該教職員の校務類型に係る業務の困難性その他の事情を考慮して</u>規則で定める。</p> <p>3 <u>前項の「校務類型」とは、次に掲げる校務の種類とする。</u></p> <p>(1) <u>学級(小学校及び中学校の学級に限り、特別支援学級を除く。)</u>を担任する業務</p> <p>(2) <u>前号に掲げるもの以外の校務</u> (特定の職員についての適用除外)</p> <p>第 2 1 条 第 1 6 条、第 1 7 条第 2 項及び第 1 8 条の規定は、<u>第 1 1 条第 1 項に規定する職並びに第 1 9 条の 2 第 1 項に規定する職員及び指導改善研修被認定者に適用しない。</u></p> <p>2 (略)</p> <p>附 則</p> <p>4 5 (略)</p> <p><u>(教職調整額の段階的引上げ)</u></p> <p>4 6 <u>次の表の左欄に掲げる期間における第 1 9 条の 2 第 1 項の規定の適用については、同項中「1 0 0 分の 1 0」とあるのは、それぞれ同表の右欄に掲げる字句とする。</u></p> <table border="1"> <tr> <td>令和 8 年 1 月 1 日から令和 8 年 1 2 月 3 1 日まで</td><td>1 0 0 分の 5</td></tr> <tr> <td>令和 9 年 1 月 1 日から令和 9 年 1 2 月 3 1 日まで</td><td>1 0 0 分の 6</td></tr> <tr> <td>令和 1 0 年 1 月 1 日から令和</td><td>1 0 0 分の 7</td></tr> </table>	令和 8 年 1 月 1 日から令和 8 年 1 2 月 3 1 日まで	1 0 0 分の 5	令和 9 年 1 月 1 日から令和 9 年 1 2 月 3 1 日まで	1 0 0 分の 6	令和 1 0 年 1 月 1 日から令和	1 0 0 分の 7	<p>(義務教育等教員特別手当)</p> <p>第 1 9 条の 3 (略)</p> <p>2 義務教育等教員特別手当の月額は、2 0 , 7 0 0 円を超えない範囲内で職務の級及び号給(定年前再任用短時間勤務職員にあつては、職務の級)の別に応じて、規則で定める。</p> <p>(特定の職員についての適用除外)</p> <p>第 2 1 条 第 1 6 条、第 1 7 条第 2 項及び第 1 8 条の規定は、<u>第 1 1 条第 1 項及び第 1 9 条の 2 第 1 項に規定する職にある職員</u>に適用しない。</p> <p>2 (略)</p> <p>附 則</p> <p>4 5 (略)</p>
令和 8 年 1 月 1 日から令和 8 年 1 2 月 3 1 日まで	1 0 0 分の 5						
令和 9 年 1 月 1 日から令和 9 年 1 2 月 3 1 日まで	1 0 0 分の 6						
令和 1 0 年 1 月 1 日から令和	1 0 0 分の 7						

改正後		改正前
10年12月31日まで	100分の8	
令和11年1月1日から令和11年12月31日まで		
令和12年1月1日から令和12年12月31日まで		

（芦屋市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正）

第2条 芦屋市職員の勤務時間その他の勤務条件に関する条例（昭和28年芦屋市条例第26号）の一部を次のように改正する。

次の表中下線又は太枠の表示部分（以下改正前の欄にあつては「改正前部分」と、改正後の欄にあつては「改正後部分」という。）については、次のとおりとする。

- （1） 改正前部分及びそれに対応する改正後部分が存在するときは、当該改正前部分を当該改正後部分に改める。
- （2） 改正前部分のみ存在するときは、当該改正前部分を削る。
- （3） 改正後部分のみ存在するときは、当該改正後部分を加える。

改正後	改正前
<p>（勤務時間）</p> <p>第2条 （略）</p> <p>2～7 （略）</p> <p>8 芦屋市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年芦屋市条例第11号。以下「給与条例」という。）第19条の2第1項の規定の適用を受ける教職員（管理職手当を受ける者及び指導改善研修被認定者（<u>教育公務員特例法（昭和24年法律第1号）第25条第1項の規定による認定を受けた者であつて、当該認定の日から同条第4項の認定の日までの間にあるものをいう。</u>）を除く。次項において同じ。）には、第3項の勤務時間</p>	<p>（勤務時間）</p> <p>第2条 （略）</p> <p>2～7 （略）</p> <p>8 芦屋市一般職の職員の給与に関する条例（昭和32年芦屋市条例第11号。以下「給与条例」という。）第19条の2第1項の規定の適用を受ける教職員（管理職手当を受ける者を除く。次項において同じ。）には、第3項の勤務時間の割振りを適正に行い原則として時間外勤務（<u>第3項に規定する勤務時間を超える勤務をいい、第6条に規定する休日における正規の勤務時間中の勤務を含むものとする。</u>次項において同じ。）は命</p>

改正後	改正前
<p>の割振りを適正に行い原則として時間外勤務（同項に規定する勤務時間を超える勤務をいい、第 6 条に規定する休日における正規の勤務時間中の勤務を含むものとする。次項において同じ。）は命じないものとする。</p> <p>9 （略）</p>	<p>じないものとする。</p> <p>9 （略）</p>

附 則

（施行期日）

- 1 この条例は、令和 8 年 1 月 1 日から施行する。

（経過措置）

- 2 この条例の施行の日（以下「施行日」という。）前に教育公務員特例法（昭和 2 4 年法律第 1 号）第 2 5 条第 1 項の規定による認定を受けた者であって施行日の前日までに同条第 4 項の認定を受けていない者が当該認定を受けるまでの間における当該者に対する第 1 条の規定による改正後の芦屋市一般職の職員の給与に関する条例（以下「改正後の給与条例」という。）の規定による教職調整額の支給については、改正後の給与条例第 1 9 条の 2 第 1 項の規定にかかわらず、なお従前の例による。